

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	図書館建設事業				担当部	教育委員会事務局									
	会計区分	一般会計		事業類型	施設整備系		担当課	新図書館建設推進室								
	事業期間	平成26年度		～	平成31年度以降		担当係	推進係								
	総合計画 新基本計画	施策等	4 教育文化		16 生涯学習		3 図書館サービスを充実します									
			重点事業		実施計画事業	○										
	予算区分	款	10		項	5		目	9		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画	図書館法、小牧市立図書館の設置及び管理に関する条例、小牧市立図書館規則、新小牧市立図書館建設基本計画、新小牧市立図書館建設審議会条例														
	目的	何・誰を対象に	一般市民(図書館利用者)													
		どの様な状態にするのか	現図書館の老朽化と狭隘化の問題に対応し、利用者の利便性を向上するとともに、これまで図書館を利用されなかった方にも利用していただける新図書館の建設を推進する。													
	内容(手段) 目的達成のため どのような事業 を実施したか	<p>○27年度実施内容</p> <p>新図書館用地の測量及び地質調査を行った。 平成26年度に引き続き、連携民間事業者のアドバイスを受けながら、基本設計業務を進めたが、「現在の新図書館建設計画」に対する住民投票結果が反対多数となり、ゼロベースから議論を再スタートすることとなった。 そのため、「小牧市立図書館の設置及び管理に関する条例」を改正以前の状態に戻すとともに市民や学識経験者等で構成する「新小牧市立図書館建設審議会」の設置条例を制定した。</p> <p>【27年度直接経費の内訳】          報償費89千円 (立会者謝礼13千円、検討会議委員謝礼76千円)          旅費233千円 (普通旅費180千円、特別旅費53千円)          需用費31千円 (消耗品費30千円、食糧費1千円)          委託料48,444千円 (基本設計アドバイザー支援委託618千円、基本設計委託41,238千円、地質調査委託3,996千円、測量委託2,592千円)          工事請負費853千円 (来館者数計測機器設置工事)          その他12千円 (有料道路・駐車場使用料)          ※委託料には、図書館建設基金を充当</p> <p>【28年度直接経費の内訳】          報酬2,426千円 (審議会委員報酬)          旅費1,217千円 (費用弁償1,094千円、普通旅費123千円)          需用費985千円 (消耗品費200千円、食糧費45千円、印刷製本費740千円)          役務費2,245千円 (通信運搬費1,700千円、筆耕翻訳料545千円)          委託料1,500千円 (電算処理委託料)          その他15千円 (有料道路・駐車場使用料)</p>														
受益者負担	無															

コスト	費用			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
		直接経費		千円			400	49,662
費用	正職員	従事者数	人			3.00	3.00	3.00
		人件費	千円	0	16,503	16,503	16,503	
	その他職員	従事者数	人			0.00	0.00	0.00
		人件費	千円			0	0	0
	費用合計	千円		0	16,903	66,165	24,891	
	対前年比	%			#DIV/0!	391.4	37.6	
財源	一般財源	千円		0	16,903	17,721	24,891	
	国・県支出金	千円			0	0	0	
	その他財源	千円			0	48,444	0	

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	基本設計の進捗状況	%	目標		—	—
実績					10	0	
業	実施設計の進捗状況	%	目標			—	—
			実績			0	
績	新小牧市立図書館建設審議会の開催回数	回	目標				15
			実績				
業	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	基本設計の進捗状況	%	目標		—	—	—
実績				10	0		
業	実施設計の進捗状況	%	目標			—	—
			実績			0	

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	H26年度に引き続き基本設計業務を進めていたが、10月4日に実施された「現在の新図書館建設計画」に対する住民投票結果が、反対多数となったため、アドバイザリー業務及び基本設計業務の契約解消、また、「小牧市立図書館の設置及び管理に関する条例」を改正以前の状態に戻す条例改正を行った。				
		事業実施における課題	住民投票の結果を受けて、ゼロベースから新図書館について議論を再スタートさせるため、市民や学識経験者等からなる「新小牧市立図書館建設審議会」を設置したが、新図書館については、できるだけ早期に市民の皆様のご利用に供することを目指していく必要がある。				
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	平成27年10月の住民投票の結果を受け、ゼロベースから議論を再スタートさせることとなったため、新図書館を供用開始時期が遅れる見込みであることから、「図書館を生涯学習活動の拠点として、より多くの市民が利用できるようにする」という目的に対して貢献できていない。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	審議会でも可能な限り集中審議ができるよう、事前の資料配布や適宜必要な情報を委員に提供するとともに、審議過程を市民にお知らせするために会議録を速やかに作成・公表する。				
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	現図書館の老朽化と狭隘化の問題に対応するため、引き続き、新図書館建設事業を推進する必要があるため。					
	29年度以降の改善案	新小牧市立図書館建設審議会の答申を踏まえ作成する新図書館の建設方針に基づき、できる限り早期の供用開始に向けて、設計業務を進める。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。